



第68号

発行日 平成19年6月25日
発行 特定非営利活動法人
神奈川県レクリエーション協会
編集委員会
事務局 〒221-0855
横浜市神奈川区三ツ沢西町3-1
神奈川県立スポーツ会館内
電話 (045) 320-2430
FAX (045) 320-0640
<http://www.kanagawa-rec.or.jp/>

やっこよがったしク活動 學ねごよがったしク運動 もっこよがったこの仲間

「ニーズに沿った 事業展開と連携強化を！」

平成十九年度の事業方針決まる！

3月17日（土）県立スポーツ会館において平成18年度第2回総会が開催され、19年度事業方針・事業計画と予算などが可決承認されました。

平成19年度事業方針

本協会は昭和32年（1957年）創立以来50周年を迎えることができました。当時は工業化の波が押し寄せたなか、職域や地域・学校でレク

リエーションの普及啓発活動が行われ、指導者養成事業とともに国及び

地方公共団体の強力な指導と組織強化支援により運動が展開されました。

近年はめざましい通信技術、機器の発達と効率化・スピード化等により、個人の共通時間が持ちにくくなるとともに、多様な課題解決を目指す専門領域団体の増加、そして行政機関等の支援形態の変化があります。これから運動を展開すると、多くの専門性をもつ機関団体等との

ゆるやかなネットワーク型組織を形成し、従来の事業や時間帯、場所にこだわらない柔軟な組織運営を構築する必要があります。

そこで、永年にわたる知識と経験、

及びその組織力を活かしながら従来のレクリエーション活動にとどまることなく、急速に変化する社会環境に対応していくよう、一層努力する必要があります。

本年度は、新しい市民社会形成の担い手としてより専門性の高い領域別指導者の養成と活動を支える支援者の養成をさらに強化し、社会的ニーズに沿った事業展開と関係機関団体等との連携や協働を図ることを重点目標として、国際社会並びに地域社会へ貢献していくよう力を尽くします。

また、財政基盤の確立を図るため、会員数の増強を図るとともに賛助会員の確保についてもさらに積極的に対策を講じます。

創立50周年記念事業として、記念式典・記念誌の発行・3回目の本県開催となる「第61回全国レクリエーション大会INかながわ」を実施します。



外遊び講座で元気いっぱいの子どもたち（横浜市内小学校）

19年度の事業計画

1 レクリエーション活動の普及・奨励

普及・奨励

市民のレクリエーション活動に対する理解と関心を高め、健全なる発展を図るために加盟団体との連携協力により、レクリエーション活動の普及・奨励を行います。

2 レクリエーションに関する大会等の開催

加盟団体を中心とし、県的なスポーツ・レクリエーション大会を実施する」とにより多くの市民の参加を促します。

加盟団体を中心となり、全県的なスポーツ・レクリエーション大会を実施する」とにより多くの市民の参加を促します。スポーツ・レクリエーションの日常定着化を目指し、健康で生きがいを実感できる、希望に満ちた生活を創造する」ことを目的に開催します。

3 レクリエーションに関する 指導者の養成研修・ 資格検定・登録

さまざまな領域で運動を支える指導者を養成します。

レクリエーション・インストラクター

4 レクリエーションに関する 会場 横浜市方面

生涯スポーツ指導者、チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員等養成講習会

会場 神奈川県立体育センター
平成19年6月17日(日)
研修事業
(friendship day)への協力

会場 未定
平成20年1月
平成20年9月
池子米軍家族住宅市民友好事業

日本レクリエーション協会公認資格者
フォローアップ・スキルアップ
平成19年10月6日(土)
平成20年3月1日(土)

5 レクリエーションに関する 機関紙「スコーン」の発行

6 レクリエーションに関する ホームページの管理運営

7 レクリエーション活動を とおしての青少年の 健全育成活動

各種関係機関団体等が開催する各種研修事業・会議等への参加を呼びかけます。

会場 横浜市方面
平成20年3月23日(日)
平成19年12月15日(土)

会場 神奈川県立体育センター
平成19年6月17日(日)
研修事業
(friendship day)への協力

日本レクリエーション協会公認資格者
フォローアップ・スキルアップ
平成19年10月6日(土)
平成20年3月1日(土)

8 創立50周年記念事業

第61回全国レクリエーション大会
INかながわ
会場 県立スポーツ会館
横浜方面 平成19年6月30日(土)
関係諸団体、国際協力NGO等との連携や協力、指導者派遣等を推進します。

会場 県立スポーツ会館
横浜方面 平成19年6月30日(土)
関係諸団体、国際協力NGO等との連携や協力、指導者派遣等を推進します。

会場 神奈川県立体育センター
平成19年6月17日(日)
研修事業
(friendship day)への協力

日本レクリエーション協会公認資格者
フォローアップ・スキルアップ
平成19年10月6日(土)
平成20年3月1日(土)

9 諸会議の開催

会場 神奈川県立体育センター
平成19年6月17日(日)
研修事業
(friendship day)への協力

日本レクリエーション協会公認資格者
フォローアップ・スキルアップ
平成19年10月6日(土)
平成20年3月1日(土)

10 第20回全国スポーツ・ 養成講座

11 第20回全国スポーツ・ レクリエーション祭

12 総会の開催

13 協会創立50周年事業の推進

14 協会創立50周年事業特別委員会



第61回

全国レクリエーション大会 INかながわ

レクの風力モミがはこぶ全国へ 開催募集要項

平成19年11月2日(金)、3日(土・祝)、4日(日)

【主 催】

(財)日本レクリエーション協会・神奈川県・神奈川県教育委員会・NPO法人 神奈川レクリエーション協会・横浜市・(社)横浜市レクリエーション協会・川崎市・川崎市青少年委員会・川崎市レクリエーション協会・鎌倉市・鎌倉市青少年委員会・鎌倉市レクリエーション協会・逗子市・逗子市青少年委員会・藤沢市・藤沢市青少年委員会・湘南国際リゾートタウン協会

【主 催】

第61回全国レクリエーション大会 IN かながわ開催要項

【主 催】

文部科学省(予定)

大会プログラム

11月2日(金)

- 13:00 受付 神奈川県民ホール
- 14:00 総合開会式 神奈川県民ホール
 - ・開会式典(表彰式他)
 - ・アトラクション
- 17:30 受付 ローズホテル横浜
- 18:00 交歓の夕べ ローズホテル横浜

協賛行事

歴史散歩 箱根

11月3日(土・祝日)

研究フォーラムセッション

講演、事例発表、ワークショップ、パネルディスカッション、
体験コーナーなど 23セッション(かながわ県民センター／岩崎学園)

種目別全国交流大会

- ・フォーカダンス 県立体育センタースポーツアリーナ
- ・スクエアダンス 川崎市とどろきアリーナサブアリーナ
- ・ラウンドダンス 横浜市平沼記念体育館
- ・レクリエーション卓球 横浜文化体育館
- ・3B体操 川崎市とどろきアリーナ
- ・バドルテニス 稲父宮記念体育館



- ・ペタンク 県立体育センター競技場(クレーコート)
- ・タッチラグビー 等々力第1・2運動広場
- ・ネイチャーゲーム 根岸森林公园

特別行事

- ・古くて新しい横浜を楽しむウォークラリー大会横浜市内。
- ・誰もが楽しく体験できるニュースポーツ体験コーナー横浜公園
水の広場

特別協賛行事

- ・ウォーク大会IN川崎会場。ウォーク大会IN藤沢・鎌倉会場。
- ・江の島・湘南海岸ウォーキング大会。ウォーク大会IN横浜会場。
- ・秋の県民サイクリング大会

協賛行事

- ・横須賀市制100年記念よこすか産業まつり。
- ・オートキャンプ入門教室。歴史散策ワークショップ

11月3日(土・祝日)～4日(日) 《2日間事業》

- ・ダーツ 鎌倉武道館
- ・グラウンドゴルフ 県立体育センター球技場(ローンコート)
- ・ターゲット・バードゴルフ 県立体育センター陸上競技場
- ・シャトルボール 等々力第1サッカー場(3日)
等々力球場(4日)

11月4日(日)

研究フォーラムセッション

ワークショップなど 4セッション 岩崎学園

種目別全国交流大会

- ・日本民踊 県立体育センタースポーツアリーナ
- ・レクリエーションダンス 川崎市とどろきアリーナサブアリーナ
- ・スポーツチャンバラ 横浜文化体育館
- ・ユニカル 横浜市神奈川スポーツセンター
- ・ドッジボール 川崎市とどろきアリーナ
- ・ボールルームダンス 稲父宮記念体育館
- ・ティーボール 県立体育センター球技場
(クレーコート)

特別協賛行事

- ・ウォーキング 江ノ島周辺
- ・ウォーキング 横浜市内
- ・秋の県民サイクリング大会 横浜市内

協賛事業

- ・横須賀産業まつり 横須賀市三笠公園内
- ・海軍の街“よこすか”をまるごと味わう! 横須賀市内

閉会式

- 11:40 受付 岩崎学園ホール
- 12:00 ・大会報告
- ・閉会式典
- ・次期開催県リーステージ

募金活動について

既にご案内しておりますように「第61回レクリエーション大会INかながわ」は開催日の11月2日まで残すところ5か月あまりとなりました。運営委員会における専門部会員の皆さんの努力により順調に準備を進めているところです。

大会開催要項も出来上がり、いよいよ全国のレク爱好者の方々よりの参加申し込み受付が始まります。「かながわでの良い思い出作り」となる素晴らしい大会にするため、よりよいお持て成しが出来るよう関係者一同頑張っております。

これには是非とも皆様お一人お一人のお力添えをいただきながら、「かながわの力」として多くのスタッフを支えて頂けるようにご支援、ご協力をお願い申し上げます。

従来はレク運動普及啓発や指導者養成等を目的とするこのような大会には行政よりの援助を受けた時代もありましたが、時代とともに、近年はあらゆる催しは団体独自の資金により活動することが求められております。

については、先の紙上に於いても寄附協賛金のお願いをいたしましたが、運用資金面に於いて非常に困難な状況にありますので、この度の大会につきましては団体協会会員の皆様のご支援を頂きたく再度のお願いを致しますので下記内容についてよろしくお願ひいたします。

- ①個人寄付金について：1口／2,000円(お一人での支払いが困難な場合、複数の方でも結構ですが口数としてお申し込みくださいますようお願いいたします。)
- ②広告協賛について：30,000～200,000円(大会プログラムに掲載。発行部数約1万5千部)(お知り合いの企業、自社企業又は団体、活動しているグループ等の掲載をお願いします。)掲載はカラー、白黒、A4全面、半面、1/3面とありますので事務局にご相談ください。
- ③お申し込み：連絡先(氏名、住所、電話番号、FAX)、申し込み内容を記入の上事務局宛にFAX又は郵送でお送りください。
- ④振込先：(銀行名) 横浜銀行横浜駅前支店 (口座種類 番号) 普通 3192576 (口座名義) 第61回全国レクリエーション大会実行委員会 会長 佐藤誠治
- ⑤お問い合わせ先：第61回全国レクリエーション大会INかながわ 実行委員会事務局 TEL045-314-5965 FAX045-320-0640

平成19年度 第1回

フォローアップ スキルアップ研修

とき 6月17日(日)
ところ 県立体育センター

橋高先生の脱穀機体操

足を使っての
製布ぞうり作り

開校式 委員長あいさつ

器具を使っての
製布ぞうり作り

瀬戸島先生のリラックス体操

事業 アルバム

空中で弧を描き、手元に戻る紙ブーメランを作って遊ぼう!

手首のスナップをきかせて、空中に解き放つとくるくる回転しながら手元に戻るブーメランの作り方と投げ方をご紹介します。

用意するもの

- 厚紙（ボール紙、板目用紙など。
お菓子の空き箱等も利用可）
- 鉛筆
- はさみ
- ホチキス

作り方

- 作りたいブーメランに必要な翼の枚数分の型を紙に写す
- はさみで切り抜く
- 角度が等分になるように切り込みを差してホチキスで止める



ニュースポーツ紹介

Part-7

紙ブーメラン

投げ方

この紙ブーメランの飛距離は直径2m～3mです。人や壊れやすいものに向けて飛ばしてはいけません。風の影響を受けやすいので、室内か風のない屋外で飛ばしましょう。

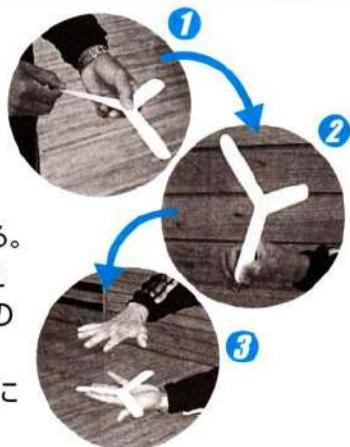
- それぞれの翼をつまんで、反時計回りに角度をつける。
- 表を自分に向かって、親指と人さし指でつまんで縦に構える。外側に30度傾けて手首のスナップを使い、自分の背の高さにまっすぐ投げる。
- 戻ってきたブーメランは両手でサンドイッチするようにキャッチする。

130mm

<型紙>

17mm

30mm





宮崎さん

国原さん

高桑さん

専門委員会紹介

前号に引き続き県レク協会の専門委員会をご紹介します。

地域活動支援委員会

この委員会は、平成十八年度に新たに設置されました。他の委員会のように定期的で通年の活動内容は未だにつきりと見てない状況ですが、地域活動の発展や活性化に結びつく「支援」という大きな役割を持つ委員会です。日本レクリエーション協会が提案・推進している「総合型地域スポーツクラブ」の創設と活動支援事業が展開されていることを踏まえ、県協会として実施可能な支援の内容や方法等を調査研究する事を委員会の活動目標の一つとしました。

そこで、「どのような支援があるのか、どんな支援ができるのか、まずは模索する」とからはじめました。

直接的支援と間接的（後方的）支援が

あり、また内容も物的（施設や物品の提供等）と人的（講師やスタッフの派遣等）等、一つの委員会だけで実施するには時間的制約もあり、限界があります。

そこで、調査研究は継続させながらも、もう一つの活動目標である「今できる支援」を最優先にして進めることとしました。具体的には、地域に誕生したクラブや要請のあった地域団体の研修会や講習会等に講師を派遣し、団体の育成にかかることで支援活動を進めています。また、十一月に本県で開催される「第八十一回全国レク大会」に支援活動の一環として参加していま

す。

「」で、ある活動事例の紹介を通して、委員会からの提案をしたいと思います。

数年前からですが「マンネリ化した活動」や「役員や育成者の不足」等、子ども会を運営する上での役員の苦労を耳にする機会があります。その中で、地域の方や各団体に呼びかけ、協力、連携をお願いできれば、子ども達に多様なプログラムが提供でき、役員の負担も軽減できることをお話ししました。その役員さんは、数年かけて根気強く呼びかけ、今では、協力者も増え、年間数回協力団体として相互に事業協力できるようになりました。

地域活動を円滑に運営し、活性化させたためには地域の「人」の力が必要

2

レクリエーションインストラクタ・指導者養成委員会

「」には、レク・インストラクタ・養成委員会です。その名のとおり、レクリエーション・インストラクターを養成を行っている委員会で、県レク協会が主催する「かながわレクスクール」を企画し運営しています。

規定の内容に加え、事業と安全の視点から、理論を補完する意味で、希望者を対象に日赤救急法指導員講習会も開催し、AEDの取り扱い方法や応急処置の方法も学習しました。

平成十八年度は、県内各地から三十人の方が受講し修了されました。福祉や教育の現場で活躍されている方や、レクに興味を持たれた方々と、皆さんそれぞれ状況は違いますが、十一回の講習といくつかの現場実習の中で、仲間として支え合いながら、着実にレクリエーションマインドを理解していく様子が窺えます。レクリエーションの理解と同時に、出会った仲間が財産であつたという声も多く聞かれます。終了後に福祉レクワーカーなどの資格に挑戦されている方もいますが、この資格、持っているだけでは意味がありません。実践と研鑽を繰り返して力をつ

です。それは地域力であり、地域教育力です。レクの有資格者も各団体の方々も、自分の持つ協力で生きる特技や特性等を活かして居住する地域へは「地域支援者」として、学校へは「教育支援者」として活動を広げてみてはいかがでしょうか。

委員会としては、レクリエーションの世界に初めて入られる方々に、「ホスピタリティ」「アイスブレーク」を理解していただくために、受講しやすい雰囲気をつくり、時には先輩としてチヨット厳しく接し、修了までをナビゲートしています。

今年度はカリキュラムの改訂があり、モデル事業として新たなカリキュラムでの講習会を運営することとなりました。各種行事で受講生を見かけましたら「頑張れよ」と声をかけてあげてください。最後に委員の紹介をさせていただきます。アルコールが入ると本來の姿となるのですが、とりあえず狂化宿前の素面での写真で失礼します。平成十九年度「かながわレクスクール」、間もなく開講です。よろしくお願ひいたします。



手前右から栗崎さん、寺井さん、佐藤さん。
右奥から西海さん、別府さん、櫛渕さん。

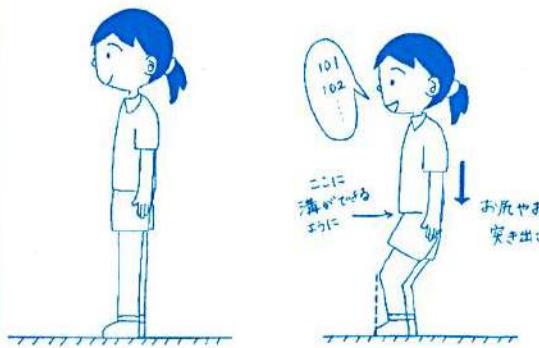
協会活動報告（4月以降分）

転ばないための運動

～脚の筋肉を強くする～

両脚2~10回程度

- あごを引いて基本の足位置で立つ。
※高齢の方はイスの背などにつかまって。
- 膝をつま先と同じ位置までゆっくり曲げる。
曲げたままで、6~10秒数える。
※曲げる時に、おなかを前に突き出しすぎたり、
引っ込めたりしないように。下腹部と脚の
付け根に溝ができるように。
- ゆっくりもとに戻る。



ボランティア募集

第61回全国レク大会 IN かながわ (大会当日スタッフ)を募集しています!

11月1日(木)
[前日準備] 配布物等の準備、会場設営等

11月1日(木)~2日(金)
[歓迎・案内] 駅・会場周辺等での案内

11月2日(金)~4日(日)
[当日運営] 会場での案内

上記いずれも当日の昼食とユニホームは支給する予定です。

お知り合いの方で希望される方がおられましたらご紹介ください。

申し込みお問合せは TEL.045-314-5965

★委員長会議	日時 4月19日 (木)	場所 かながわ県民活動サポートセンター
★加盟団体事務局担当者会議	日時 4月21日 (土)	場所 県立スポーツ会館
★理事会	日時 5月12日 (土)	場所 県立スポーツ会館
★認定委員会	日時 5月29日 (火)	場所 かながわ県民活動サポートセンター
★総会	日時 6月2日 (土)	場所 県立スポーツ会館

★選考委員会	日時 6月16日 (土)	場所 県立体育センター
★関東ブロック会議	日時 6月20日 (水)	場所 かながわ県民活動サポートセンター
★かながわレクスクール合宿研修	日時 6月21日 (木) ~ 22日 (金)	場所 山梨県内
★チャレンジ・ザ・ゲーム2007	日時 6月23日 (土) ~ 24日 (日)	場所 県立清川青少年の家
今後の予定	日時 6月30日 (土)	IN かながわ

★課程認定校事務担当者教職員会議	日時 7月4日 (水)	場所 横浜・崎陽軒
★かながわレクスクール	日時 7月7日 (土)	場所 横浜・崎陽軒
★委員長会議	日時 7月8日 (日)	場所 かながわ県民活動サポートセンター
★かながわスポーツ・レクリエーション大会	日時 7月13日 (金)	場所 横浜・山下公園
今後の予定	日時 9月2日 (日)	IN かながわ

どいつ、どいつ、どいつ

★スポーツ大会実行委員会

場所 県立スポーツ会館

編集後記

久しぶりにおもろい小説に出会った。
60歳過ぎのおばちゃんやまのようにおもろい翻訳ものである。子育ても終わり、最愛の夫にも先立たれ、平穀な生活にも飽き足らず、若い頃から憧れていた「スパイ」になろうと思いつ立ったのだ。ちょっととしたCIAのミスで本当にスパイの仲間入りをしてしまったおばちゃんやまであるが、大手柄をたててしまう。ひやひやドキドキの場面でニヤリとさせたり、好奇心と素つ頓狂な想像力で難事件を解決するのである。

私もおばちゃんやまのようにみずみずしさと茶目っ氣を忘れず、冒險心を持つて常にチャレンジしていきたい。

藤村妙子

近づくテニスコート帰りの女学生の一団がにぎやかに並んだ。大きな体操鞄を肩から下げておしゃべりに余念がない。そして、料金箱の前に来るといふもろに財布を開けて小銭を選び出している。過日、ドイツに行ってきた。旅行案内に「ドイツの人たちは、なにごともいいらしい」とあった。立寄った店の勘定場で、前のご婦人が店員とやり取りを始めた。長々と続く質疑応答にいらいら、うしろの人たちを窺うこと、みな平気な顔だ。雑誌を読んでいる人もいる。ほんとだ、いらっしゃらない。

全国レクのおしごとも載いて、後ろから背中を押されているような毎日。小さな声で呪文(どいつ、どいつ、どいつ)それに付けてもレクの風カモがはこぶ全国へ(三)

.....県レク.....事務局たより